

栃木県畜産酪農研究センターの除染について

H25.3
畜産酪農研究センター

1 目的

当センター敷地において恒例的に行われている「畜産酪農研究センター公開デー」や「酪農フェア」などに訪れる3000～4000人の方々の安全を図るため、会場周辺の除染を実施しました。
併せて、当センター繋養牛の安全な粗飼料を確保するために牧草地の除染を実施しましたので紹介します。

2 除染の概要

(1) 対象施設: 栃木県畜産酪農研究センター（栃木県那須塩原市千本松）

- ①牧草地: 5ha
- ②本館周辺の駐車場、道路、側溝: 11,261m²
- ③防風林: 22,315m²

(2) 実施期間: 平成24年8月～平成25年3月

(3) 除染概要

①牧草地の除染

牧草地を深く耕すとともにカリ肥料を施用するなどして、放射性セシウムを牧草に移行するのを抑えます。



プラウによる反転耕



ブロードキャスターによる牧草の播種と
ディスクハローによる整地

②本館周辺の駐車場、道路、側溝の除染

局所的に線量が高い箇所の堆積物や苔などを除去しました。



側溝内の堆積物の除去



側溝等の苔の除去

③防風林の除染

落葉等の堆積物を除去しました。



作業の支障となる草などの刈払



落葉等の除去

3 除染の効果

除染実施前後の平均空間放射線量 ($\mu\text{Sv/h}$)

除染場所	実施前	実施後
牧草地	0.71 (H24.8)	0.29 (H24.10)
本館周辺	0.61 (H24.11)	0.47 (H25.1)
防風林	0.79 (H24.11)	0.70 (H25.1)

※地上1mで測定